

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:		株式会社 山崎企業		基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念及び業務方針を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を朝礼や社内ミーティング等を通して従業員に説明し共有を図っている。								8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定とマニュアルがあり、代表取締役自ら会議等で注意喚起を行うほか、定期的に社内研修を行い従業員の意識向上に取り組んでいる。																16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、就業規則に明文化している。 ・取引先等に対し不当な値引き圧力がないが、また従業員がそういった圧力を受けていないか聞き取りを行い、会社として公正な取引に取り組んでいる。										10						16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表取締役自らが担当し、自社の企業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の取り扱いについては、入社時に念書を交わし、業務上知り得た情報については漏らさないよう徹底している。 ・知的財産に関する講習会等への積極的参加や社内研修を行っている。								8.2 8.3	9							16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報保護を適切に管理している。	●		・保管場所の施錠の徹底や、PC上ではパスワードを設けてアクセス権を制限するなど、情報漏洩防止に取り組んでいる。 ・個人情報の適切な管理について研修会を行い意識向上に取り組んでいる。																16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・国の行政機関や地方自治体の発注担当者や十分な協議を行い、地域住民や取引先及び下請け業者と定期的な連携を図ることで日々改善に取り組んでいる。															16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先や協力会社の活動に関心を持ち、定期的な意見交換会や親睦会等に参加し対話を大切にすることで、自社が与える生態系への影響や倫理面での適切な対応など問題意識の共有に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組む、セミナー等への参加や資格取得を積極的に行っている。									8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、社内何でも相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・朝礼時のKY活動や整理整頓の実施徹底、使用機材や車両等の定期的な整備・点検を行い作業中の事故防止に取り組んでいる。 ・労働安全衛生講習会へ積極的に参加し、意識向上に取り組んでいる。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制の整備・運営を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・クラウドサービスを用いて労働時間の見える化を行うことで、休日出勤や残業時間の管理を行い、長時間労働の防止を図っている。 ・経営者自らが従業員へ有給休暇の積極的取得や残業時間短縮の呼びかけを行うことで社内の意識改革を図り、ワークライフバランスの推進に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・人材育成のための研修体制の整備を行うほか、講習受講や資格取得にかかる費用の全額助成支援を行っている。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼時のラジオ体操や、昼休憩とは別に業務の合間に午前午後それぞれ15分程度の小休憩を取り入れるなど、従業員の健康増進・生産性向上への取り組みを行っている。 ・ヘルスター認定を取得している。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇給等に、人種、性別などの違いによる差別待遇はない。 ・定年退職制度を設けず、年齢・性別・人種等に関わらず多様な人材が十分に活躍できる環境整備を行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・Web会議の導入やセミナー等へのリモート参加など、新しい生活様式への対応を行っている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ICTの活用や資料のデジタル化、事務手続きのオンライン化を積極的に業務に取り入れ、作業効率の向上を図るとともにビジネスモデルの変革に取り組んでいる。								8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・2022年にプライト企業認定を取得している。 (熊本県「No.22096」)			3	4					8	9			12						

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:

株式会社 山崎企業

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。 ・ISO14001を取得し、廃棄物や有害物質の適切な管理及び処理の徹底に取り組んでいる。				3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガス料金など、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、社屋の設備にLEDやセンサーライトの使用などを積極的に導入し、エネルギー削減の取り組みを行っている。								7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。 ・簡易計算シートを用いて燃料使用量を算出しており、現場移動時の社用車の乗り合わせ実施などCO2削減に取り組んでいる。		2.4						7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、ペットボトルのリサイクルやレジ袋の削減に取り組んでいる。 ・ロードクリーンボランティアを通じて緑地や水辺の整備などを行っている。 ・環境に配慮した材料の使用や提供を通じて生物多様性の保全に取り組んでいる。							6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、裏紙の再使用を推進している。 ・ごみの分別の徹底を行い、資源のリサイクルに取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所内設備に節水器具を使用している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・エコアクション21を取得している。 ・再生紙利用やリサイクル製品の購入を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社内全体で3010運動に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・ロードクリーンボランティアを通じて地域の緑化活動に参加している。 ・事務所前や資材置き場の目隠しフェンスの代わりに植樹をするなど、壁面緑化や植栽に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・3Rを心がけ会社内でマイバッグやタンブラー・マイボトルの使用を推進することにより、プラスチックごみの削減に取り組んでいる。 ・定期的にロードクリーンボランティア活動へ参加し、河川美化に取り組んでいる。														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:		株式会社 山崎企業		基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・材料や部品等はJIS規格のものを購入・使用することを推進している。 ・現場で想定されるリスクを洗い出して社内で共有し、安全性や品質確保のための意見交換会を定期的に行っている。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープや手すりの設置、多目的トイレの導入などユニバーサルデザインを考慮した環境整備を行っている。 ・現場ごとに仮設通路や見やすい看板の設置、誘導員の配置などを行い、誰もが安全で分かりやすいサービスの提供に取り組んでいる。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・使用する木材は地元の製材所から熊本県産木材を優先的に購入するなど、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・地元企業に新事務所の建築を依頼し、柱に廃材の木を再利用したり、天井や床・壁等の内装に木材を使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・近年増加している自然災害による主要道路等の仮復旧工事に迅速に対応するため、建設分野でのサービス向上・開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県のロードクリーンボランティアに定期的に参加している。 ・熊本県や阿蘇市と防災協定を結び、積極的に社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・社内で定期的にハザードマップを確認し、安全ルートや危険地域の把握に取り組んでいる。 ・熊本地震や九州北部豪雨の教訓を活かし、非常食・飲料水の備蓄、懐中電灯やヘルメットなどの防災グッズの常備、棚や備品の転倒防止固定を行っている。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・熊本県や阿蘇市と連携を取り、大雨時の河川の増水パトロールや積雪時の除雪作業などの防災活動に参加している。 ・従業員が地域消防団に所属しており、会社としても活動がしやすいような勤務体制に配慮するなど支援を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内のSDGs担当者が外部セミナー等に参加し学んだ知識をもとに、定期的に社内研修会や意見交換会を実施し、SDGsの普及啓発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地域児童の職場体験学習や学生のインターンシップ等の受け入れを積極的に行っている。				4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒や学生を積極的に採用している。 ・建設業協会青年部と連携して、高校生向け就職ガイダンス及び現場見学会を開催するなど、県内就職を促進する取組みを行っている。				4.4					8.5 8.6								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17